

平成20年度

全国学力・学習状況調査

福岡県学力実態調査

の結果を受けて

# 小学校 授業改善の Strategy

福岡県教育委員会

問題例

三 小川さんは、おかあさんグマの気持ちがよく表れているところとして、本文中の部分を例に挙げてみましょう。その中で、――部の「わるいことに」には、おかあさんグマのどのような気持ちがかかれていいると考えられますか。次のメモをもとにし、あとの条件に合わせて書きましょう。

【メモの一部】

- ◆一ぴきや二ひきではない犬のおいがしてきた。
- ◆イタドリは、グマの気持ちよく表れている。
- ◆イタドリの芽は、グマの気持ちよく表れている。

【条件】

- 「犬」と「イタドリの芽」の二つの言葉を入れて書くこと
- 四十字以上八十文字以内にとめて書くこと

わるいことに

↑

おかあさんグマの気持ち

(椋鳩十「母グマ子グマ」による)

| 問題番号    | B23  | 解答形式 | 記述 | 平均正答率(全国) | 40.7%(45.0%) |
|---------|--|------|----|-----------|--------------|
| 正答      | (例) 犬が近づいて来て早くにげなければならないのに、子グマの好きなイタドリの芽が目前にあることが分かり、それを食べようとして逃げおくれしてしまうことを心配している。  |      |    |           |              |
| 出題の趣旨   | 登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関係付けて読むことができるかどうかをみる。   |      |    |           |              |
| 学習指導要領  | B 書くこと(第5学年及び第6学年)<br>ア 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。<br>C 読むこと(第5学年及び第6学年)<br>ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。   |      |    |           |              |
| 分析結果と課題 | ○ 無解答率が本県27.2%、全国22.7%であり、4.5ポイント下回っている。<br>○ 誤答には、二つの言葉を使って場面の様子は説明しているが、人物の心情を描写と関係付けて解答できていない傾向が見られる。<br>○ 場面の变化と人物の心情とを関係付けることや、人物相互の関係をとらえることが不十分である。 |      |    |           |              |

この問題の解決には次のような知識・技能の習得が必要になります

登場人物の心情を、場面の展開や情景と関係付けて解釈できる知識・技能

- 情景描写には、それを見ている人物のどんな心情が表れているのだろうかと関心をもって読む。
- 会話文だけでなく、地の文にも着目し、人物の心情やそのわけを考えながら読む。
- 「一冬、食べ物をとらなかつたクマたち」という人物の固有の条件を読む。
- 「一ぴきや二ひきの犬のおいではないにおいがしてきた」「なによりのごちそうであるイタドリがある」などの人物が置かれている状況を読む。

語感の違いや言葉の使われ方の差異を説明できる知識・技能

- 「わるいこと」と「とんでもないこと」「気が気ではないこと」とはどのように似ているのか、違うのかと比較して考えることができる。
- 根拠となる言葉を取り上げ、「もし、～が～ならば、…ではなく、…になります」のように、他の言葉と置き換えたときの効果やその言葉が使われた意図を述べるができる。

Point 3

学習内容を文章に

- 学習用語を使わせる。
  - ・描写、心情、表現効果等
- 思考方法を使わせる。
  - ・仮定、比較、反復等
- 表現技法を使わせる。
  - ・箇条書き、要約、体言止め等
- 学習した内容を表現させる。
  - ・「この事例のあげ方は、読者が～になるという効果がある。」等

Point 2

言葉に目を向ける発問・話し合いを

- 書かれていることをもとにして書かれていないことを想像・思考する問いを
- 読み過ごし、読み誤るところに問いを
- 「比べてみると」「もしもと考えてみると」など考え方を示した問いを
- 互いの考えの正誤・適否を検討する問いと児童相互の話し合いを

Point 1

指導事項を精選し、具体的に

- 作品の魅力を一言で書けるまで何度も読む。
- これだけは味わわせたいという語句を明らかにする。
- 読み過ぎしたり、読み誤ったりすると予想される語句を明らかにする。
- 主題、心情、イメージ、語句選択など内容と形式の特徴を的確に書く。
- 習得・活用させたい学習用語を明らかにする。

学習用語「情景描写」と「人物の気持ち」を使って、学習して分かったことを書きなさい。

学習用語を提示する

「空はからりと晴れていて、もずの声がキンキンひびいていた」というのは、ごんのどんな気持ちを表しているのでしょうか。

情景描写と心情の関係を問う

ごんが見たもの、聞いたものを書きなさい。

人物の見聞きしたものを問う

ごんはどこにいますか。ごんはどんなようすですか。

人物のおかれた状況を問う

ある秋のことでした。二、三日雨がふり続いたその間、ごんは、外へも出られなくて、あなの中にしゃがんでいました。  
雨が上がると、ごんは、ほっとしてあなからはい出ました。空はからりと晴れていて、もずの声がキンキンひびいていました。

① 情景描写から人物の心情を想像・思考する力を育てる学習指導例

学習を通して分かってきた人物像を書き、その理由を「もしくだったら」という語句を使って書きなさい。

考え方を提示する

ごんが裏口から入るとき、どこを見て、どんな姿勢だったのでしょうか。「ぎつね」と呼んでいることから、兵十はどんなことを考えているのでしょうか。

表情・姿態を問う

「その明るる日」とは、どういうときですか。そこから、ごんのどんな気持ちが伝わりますか。「そのとき」とは、兵十にとって、どんなときですか。

指示内容を問う

ごんは、「へえ、こいつはつまらないな。」と思いました。「中略」神様にお礼を言うんじゃあ、おれはひきあわいなあ。」その明るる日も、ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました。兵十は、物置でなわをなっていました。それで、ごんは、うちのうら口から、こっそり中へ入りました。  
そのとき兵十は、ふと顔を上げました。と、ぎつねがうちの中へ入ったではありませんか。

② 場面の展開から人物の心情を想像・思考する力を育てる学習指導例

学習して分かった「読むときに大切な方法」を、表現技法「箇条書き」及び「体言止め」で説明しなさい。

表現方法を提示する

「ごん、おまいだったのか」とは、ごんに質問しているのですか。兵十が自分に言い聞かせているのですか。「はたりと取り落とす」と「はたりと落とす」とは、兵十の心の状態がどのように違いますか。

言葉の使われ方を問う

ごんがくりを固めておいたのは、なぜでしょうか。

動作のわけを問う

兵十はかけよってきました。うちの中を見ると、土間にくりが固めておいてあるのが、目につきました。「おや。」と、兵十はびっくりして、ごんに目を落としました。「ごん、おまいだったのか、いつも、くりをくれたのは。」  
ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。  
兵十は、火なわじゅうをばたりと取り落としました。

③ 言動の背後にある心理や感情を想像・思考する力を育てる学習指導例

## 問題例

5

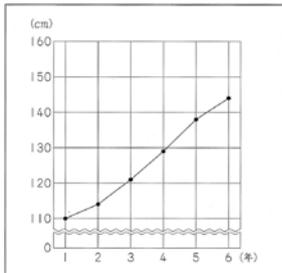
洋平さんの学校では、毎年4月に身長を測っています。  
保健の学習で、学年ごとの身長を次のように表にまとめました。

洋平さんの学年ごとの身長

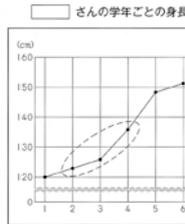
| 学年(年)  | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 身長(cm) | 110 | 114 | 121 | 129 | 138 | 144 |

そして、上の表を見て、身長を下の折れ線グラフに表しました。

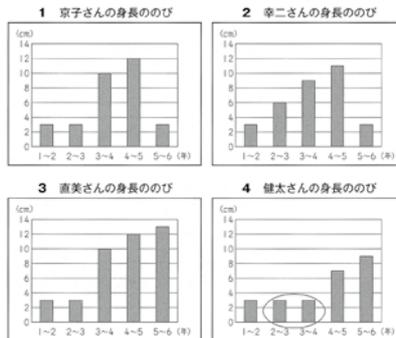
洋平さんの学年ごとの身長



右の折れ線グラフは、洋平さんと同じ学級の京子さん、幸二さん、直美さん、健太さんの4人のうち、ある1人の身長を表しています。



下の棒グラフは、4人の学年ごとの身長の伸びを表しています。



左のページの折れ線グラフが、だれの身長を表したものを考えます。

(2) 洋平さんは、折れ線グラフの○の部分と、棒グラフ4の○の部分を見て、次のように言いました。



折れ線グラフの○の部分と、棒グラフ4の○の部分を見ると、折れ線グラフは、健太さんの身長を表したものでないことがわかります。

洋平さんが、「健太さんの身長を表したものではない」とわかったのは、折れ線グラフの○の部分の変わり方と、棒グラフ4の○の部分の身長の伸びを比べて、どのようなちがいがあからずかですか。それぞれのグラフを見て、そのちがいを、言葉や数を使って書きましょう。

| 問題番号    | B 5 (2)  | 解答形式 | 記述 | 平均正答率(全国) | 17.6% (19.4%) |
|---------|--|------|----|-----------|---------------|
| 正答      | (例) 折れ線グラフでは、2年生から3年生より、3年生から4年生の方が線のかたむきが急になっているから、身長の伸びが大きくなっている。しかし、棒グラフ4では、2年生から3年生までの棒の高さと、3年生から4年生までの棒の高さが同じだから、身長の伸びは同じ。  |      |    |           |               |
| 出題のねらい  | 身長の変化を表す折れ線グラフと身長の伸びを表す棒グラフを見て、グラフの特徴をもとにそれらが対応していないことを読み取り、その違いを言葉や数を用いて記述できる。  |      |    |           |               |
| 学習指導要領  | 第3学年 D 数量関係<br>(1) 資料を表やグラフで分かりやすく表したり、それらをよんだりすることができるようにする。<br>イ 棒グラフのよみ方及びかき方について知ること。<br>第4学年 D 数量関係<br>(1) 伴って変わる二つの数量について、それらの関係を表したり調べたりすることができるようにする。<br>イ 変化の様子を折れ線グラフに表したり、それから変化の特徴をよみとったりすること。 |      |    |           |               |
| 分析結果と課題 | ○ 折れ線グラフと棒グラフの二種類のグラフについての説明を書いているが、記述内容に誤りやあいまいさがあるものが36.4%、無解答率は本県27.1%、全国21.3%であり、5.8ポイント下回っている。<br>○ 各々のグラフから分かることをもとに相違点を説明することが不十分である。   |      |    |           |               |

## この問題の解決には次のような知識・技能の習得が必要になります

### 表の作成とその読み取り

- 1次元や2次元の表を作成することができる。
- 表から伴って変わる二つの数量の関係を読み取ることができる。

### 棒グラフや折れ線グラフを用いた数量の表現とその読み取り

- 棒グラフの特徴を理解し、棒グラフをかいたり、棒の高さから数量の大小や差などを読み取ったりすることができる。
- 棒グラフから最大値や最小値をとらえたり、項目間の関係、集団のもつ全体的な特徴などを読み取ることができる。
- 折れ線グラフの特徴を理解し、資料を目的に応じて折れ線グラフを用いて表したり、線の傾きから変化の様子を読み取ったり調べたりすることができる。
- グラフ用紙の大きさや目的に応じて、適切な一目盛り大きさやグラフ全体の大きさを決めることができる。

# このような学習指導を展開しましょう

## 問題文や図・表・グラフなどから問題の内容をしっかりと読み取らせましょう

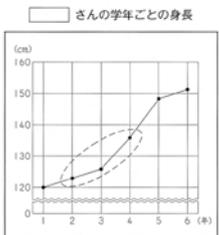
洋平さんが、「健太さんの身長を表したものではない」とわかったのは、折れ線グラフの○の部分の変わり方と、棒グラフ4の○の部分の身長とのびを比べて、どのようなちがいがあるからですか。それぞれのグラフを見て、そのちがいを、言葉や数を使って書きましょう。

### 問題文の要点をおさえさせること

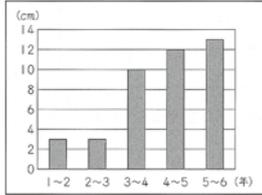
- 何を問われているのか。  
※「折れ線グラフが健太さんの身長を表したものではないこと」の理由をきかれています。
- ※「○と○の部分のちがいをきかれています。」
- どのように答えるようにきかれていますか。  
※「ちがいを、言葉や数を使って書いて答えること。」

### グラフで最初に確認させること

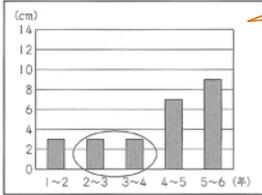
- 何を表しているグラフなのか。  
※「□さんの学年ごとの身長の変り方を表しているグラフだな。」  
「4人の学年ごとの身長とのびを表しているグラフだな。」
- 変化する二つの数量は何か。  
※「学年と身長だ。」「学年間とのびの高さだ。」
- 横やたての目もりは何を表しているか。  
※「横は学年、たては身長だな。」「横は学年間、たてはのびだな。」
- 単位や一目もりの大きさは、どうなっているか。  
※「横の単位は学年で、たては長さを表すcmになっているぞ。」



3 直美さんの身長とのび



4 健太さんの身長とのび



## 既習を振り返らせ、解決の見通しをもった自力解決をさせましょう

### Point 1 表や棒グラフ及び折れ線グラフの特徴を振り返らせる

- ・表は、数値から各学年における身長を読み取れる。また、各学年間の身長の差も計算で求めることができる。
- ・棒グラフは、棒の高さから身長とのびを読み取れる。
- ・折れ線グラフは、線の傾きから身長の変化の様子を読み取れる。



折れ線グラフと棒グラフは  
直拍比べられないな。  
どのように考えたらいいかな。

### Point 2 折れ線グラフと棒グラフの特徴から解決の見通しをもたせる

- 折れ線グラフの傾きの大きさと棒グラフの棒の高さに着目させる。

### Point 3 表やグラフの特徴をもとに相違点を読み取らせ自力解決させる

- 折れ線グラフの傾き具合から身長の変り方を読み取らせる。  
※「2年生から3年生より、3年生から4年生の方が線のかたむきが急になっているので変わり方が大きい。」
- 健太さんの身長とのびを表す棒グラフの棒の高さからそののび方を読み取らせる。  
※「2年生から3年生までののびと、3年生から4年生までののびが3cmで同じだ。」
- 2つのグラフから読み取ったことの違いに気付かせる。  
※「3年生から4年生までののび方がちがうぞ。」

読み取ったことや考えたことはノートに記述させ、振り返ったり、人に説明したりできるようにしておく

傾き具合と棒の高さを比べればよいことをしっかりと指導する

棒グラフ、折れ線グラフ、その他のグラフ（帯・円・柱状）を関連させて考える力を身に付けるために、同じ資料で、目的によって、表現の仕方や目もりを変えたグラフを読み取る経験をさせる

## 問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明させましょう

### Point 4 根拠を明らかにして説明する活動を行わせる

- 2つのグラフから明らかになった相違点に着目して、算数の用語・記号、言葉や数、式、表、グラフなどを用いて筋道立てて説明させる。

ペアや班など形態を工夫して、全員に説明する機会を与える

## 問題例

かずみさんのクラスでは、班ごとに日本の農業についてまとめました。次のまとめを見て、あとの問いに答えましょう。

(2) 〈2班のまとめ〉について、

**B**に入る文を、資料1～3を読み取ったことから考えて書きましょう。

### 〈2班のまとめ〉

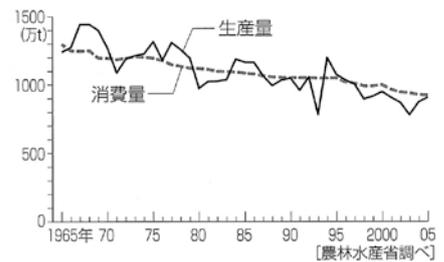
・わたしたちの班は、資料1～資料3をもとに、日本の米の生産量が減った理由を調べ、次のようにまとめました。

〈まとめ〉

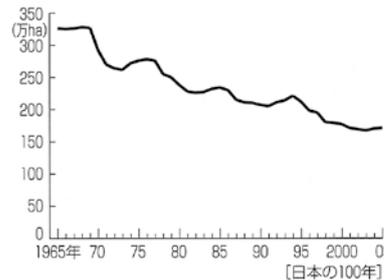
**B**

・このことから、米づくりに力を入れる人が減ってしまうことが心配されています。

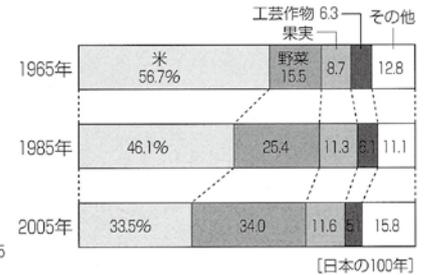
資料1 米の生産量と消費量の変化



資料2 米の作付面積の変化



資料3 農作物の生産額割合の変化



| 問題番号    | 3 (2)活用  | 解答形式 | 論述 | 平均正答率 (期待正答率) | 1.2% (50.0%) |
|---------|--|------|----|---------------|--------------|
| 正答      | (例) 米の消費量が減り、米の作付面積を減らしたり、米以外の農作物の生産を増やしたりするようになったため、米の生産量が減りました。  |      |    |               |              |
| 出題のねらい  | 複数の資料から、米の消費量と作付面積、農作物の生産額割合の変化を読み取り、米の生産量が減った理由を説明することができる。   |      |    |               |              |
| 学習指導要領  | 第5学年(1)<br>我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。                         |      |    |               |              |
| 分析結果と課題 | ○ 「米の消費量が減っている」「米の作付面積を減らしている」「米以外の農作物の生産を増やしている」のいずれかの条件を満たしていないものが44.9%、無解答が16.2%であった。<br>○ それぞれの資料の特質に応じて、資料を適切に読み取り、それらを関連付けて説明することに課題がみられる。 |      |    |               |              |

## この問題の解決には次のような知識・技能の習得が必要になります

### 食料生産の概要

- 国民の食生活は、米を主食として、野菜、果物などの農産物や畜産物、水産物も欠かせない。
- 食料の中には、外国から輸入しているものもある。

### 主な農産物の分布と土地利用の特色

- 気候や地形などの自然条件を生かした農作物が生産されている。
- 耕地面積や農業従事者が減少している。
- 米の生産量が消費量を上回るようになったため、転作等で米の生産調整が行われた。

### 食料生産の工夫や努力

- 食生活が変化し、消費者の需要にこたえるため、新鮮で良質な物を生産し出荷するなどの様々な工夫をしている。

### 地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用する技能

資料から必要な情報を読み取る。

資料に表されていることからの全体的な傾向をとらえる。

複数の資料を関連付けて読み取る。

資料を整理したり再構成したりする。

# このような学習指導を展開しましょう

## 学習の流れ

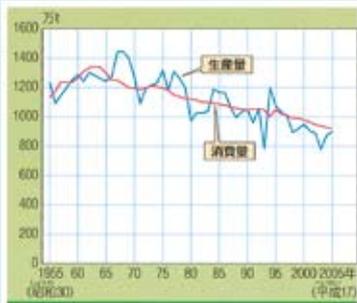
米の生産量の変化を読み取り、減少している理由を予想する。

資料から必要な情報を読み取る。

資料を根拠として、「米の生産量が減少した理由」について考えたことを説明する文章にまとめる。

小集団で発表、意見交換し、自分の考えを評価、付加修正する。

## 資料を読み取る力を育てましょう



米の生産量と消費量の変化(農林水産省)  
〔小学社会5上〕教育出版

### Point 1

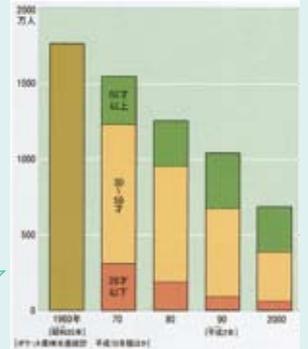
- 折れ線グラフでは、
- ◆変化のある部分に着目する。
  - ◆全体的な傾向を読み取る。
  - ◆複数の項目がある場合は、その関連を読み取る。

生産量は年によって増加したり急激に減少したりしながら、全体的に減少している。一方、消費量は生産量より年による変化は少ないが、全体的には生産量と同様減少している。

### Point 2

- 積み上げ棒グラフでは、
- ◆全体(総人数)の変化を読み取る。
  - ◆項目(年齢)別の割合を読み取る。

農業で働く人の数は減少しており、全体に占める「29歳以下」と「30～59歳以下」のそれぞれの割合は低くなっているが、「60歳以上」の割合は高くなっている。



〔新しい社会5上〕東京書籍



食生活のうつり変わり(1人1日あたり)  
(2003年刊 食料需給表)

〔小学社会5年上〕大阪書籍

- ・米以外の摂取量は、どれも増加した。
- ・肉類、牛乳・乳製品の摂取量の増加率は著しく大きい。
- ・主食の米から小麦に変化している。

### Point 3

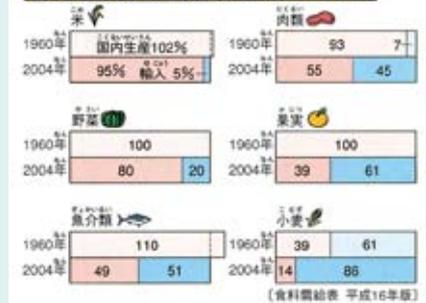
- 複数の資料を関連付けるときには、
- ◆それぞれの資料から読み取れることを記述する。

- ・全ての項目に共通すること
- ・他と異なる傾向の項目の特徴

- ◆学習課題に応じて、着目する項目を比較する。  
「資料1で、〇〇が～なのは、資料2から〇〇が～であるからだと考えられる。」

米から小麦、肉類を中心とした食生活への変化が食料自給率と関係がある。

### ④ 日本のおもな食料の自給率の変化

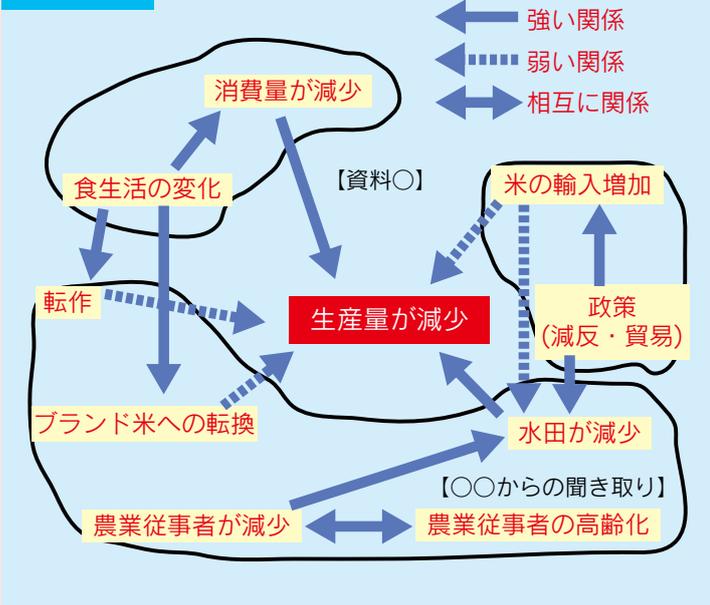


〔楽しく学ぶ、小学生の地図帳〕帝国書院

- ・どの食料も自給率が低下した。
- ・肉類、果実、魚介類の自給率は急激に減少している。
- ・小麦の自給率は以前から低く、ほとんど輸入にたよっている。

## 考えたことを表現する力を育てましょう

### 関係図



### Point 4

関係図をかき、調べた事実を比較したり、関連付けたりして整理する。

- ◆調べてわかった事実をすべて簡条書きで記述する。
  - ◆それぞれの事実をキーワードで表現する。
  - ◆それぞれのキーワードを、原因と結果の関係が説明できるように並べる。
- ※キーワードをカードに記入し、操作した後、それぞれのキーワードを原因と結果を示す→で結ぶ。
- ◆並べたキーワードを分類し、視点を整理する。
- ※左の例では三つの視点から整理している。  
「米の消費」「米づくりの現状」「他国との関係」

### Point 5

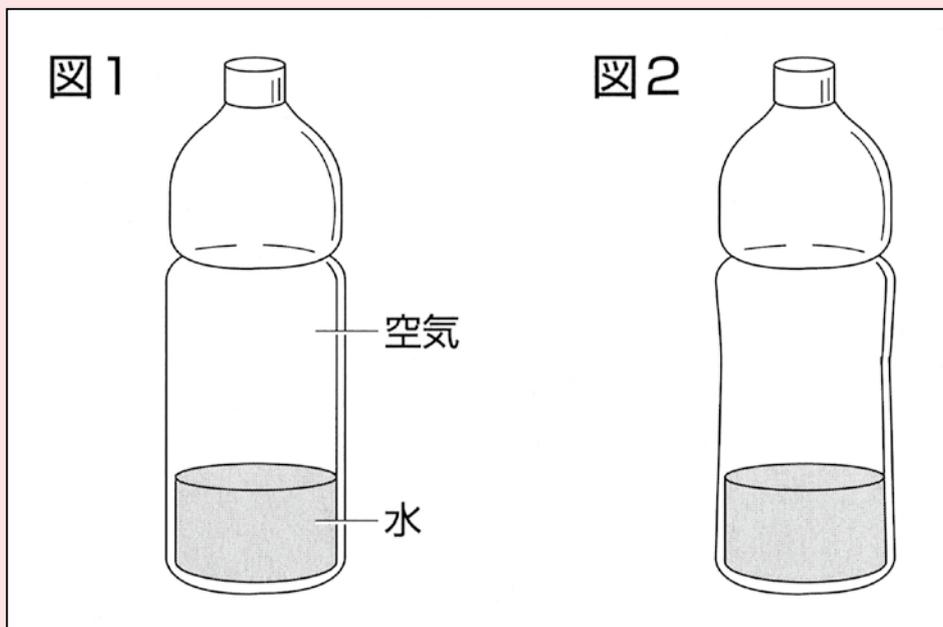
関係図に示されたキーワードが、予想や空想にならないよう、【根拠となる資料】を記入する。

### Point 6

関係図のキーワードを使って説明文を書く。  
「米の生産量が減少した一番の理由は〇〇だと考える。それは□□であることが資料◇と資料△から考えられるからである。」

## 問題例

空気や水の性質について、次の問題に答えましょう。



- (1) けんじさんは、ペットボトルに入った水を飲みましたが、図1のように少し残ったので、ふたをして冷そう庫に入れました。次の日、冷そう庫からペットボトルをとり出すと、ペットボトルはよく冷えていて、図2のように少しへこんでいました。このようになったいちばんの大きな理由を、「かさ」ということばを使って書きましょう。

| 問題番号    | 6 (1)活用   | 解答形式 | 論述 | 平均正答率 (期待正答率) | 17.1 (50.0%) |
|---------|---|------|----|---------------|--------------|
| 正 答     | ペットボトルの中の空気が冷やされて、空気のかさが小さくなったから。   |      |    |               |              |
| 出題のねらい  | 空気のかさは冷やされると小さくなることが分かり、日常生活の場面にあてはめて考えることができる。   |      |    |               |              |
| 学習指導要領  | 第4学年B (2) ア<br>金属、水及び空気を温めたり冷やしたりして、それらの変化の様子を調べ、金属、水及び空気の性質についての考えをもつようにする。  |      |    |               |              |
| 分析結果と課題 | <input type="radio"/> 空気は水と比べて、冷やされたときのかさの変化が小さいと誤解している解答が7.6%、無解答が18.0%であった。<br><input type="radio"/> 空気を温めたり、冷やしたりすると体積（かさ）が変わり、水と比べて空気は体積（かさ）の変化が大きくなることを日常生活の場面で説明することに課題がみられる。 |      |    |               |              |

この問題の解決には次のような知識・技能の習得が必要になります

### 金属、水及び空気の温度変化と体積（かさ）の変化の関係

- 金属、水及び空気は、温めると体積（かさ）が膨張し、冷やすと収縮する。
- 空気の温度による体積（かさ）の変化が最も大きく、水、金属は空気と比べて体積（かさ）の変化が小さい。

### 観察、実験の技能

- 加熱器具（実験用ガスコンロ、アルコールランプ）、スタンドの使い方
- 観察、実験の結果の記録、整理の仕方

# このような学習指導を展開しましょう

## 問題を見出す力を育てましょう

### Point 1

既習経験とのズレから問題を見出させる。

### Point 2

考える視点を焦点化し、自分なりの考えを表出させる。



手で押せない試験管でシャボン玉がふくらむのはどうしてだろうか？

試験管の中の空気がふくらんだのかな？

空気のかさは温度によって変わるのかな？

空気の温度をかえて、体積（かさ）の変化を調べよう。

## 問題解決をする力を育てましょう

### Point 3

「何のために」「何を」「どのように」観察、実験するのが見通しをもたせる。

### Point 4

結果は、表やグラフ、絵図などで整理させる。

### Point 5

考察は、見通しとつないでまとめさせる。

①結果と予想をつないでまとめさせる。

②結果から分かることや考えられることをまとめさせる。

予想・仮説

観察、実験

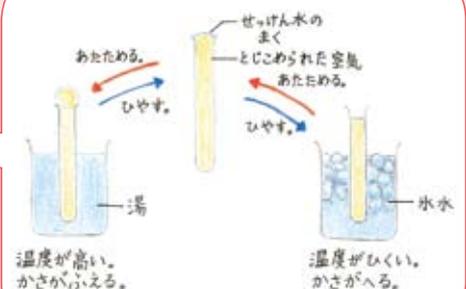


結果の整理

考察

なぜ、そのように予想したのか、理由(なぜなら...)を書きましょう。

空気は冷えるとふくらむと思う。なぜなら、水はこおると大きくなったから。空気は温めるとふくらむと思う。なぜなら、気球は温めてふくらませるから。



①結果は、私の予想と同じで(違って)シャボン玉は温めるとふくらみ、冷やすと縮んだ。

②このことから、空気は温めるとふくらみ、冷やすと縮むことがわかった。

観察、実験から分かったことを整理し、新しい科学的な概念の定着を図る。

まとめ

- 1 空気を温めたり、冷やしたりすると体積(かさ)が変わる。
- 2 空気の体積(かさ)は、温めると大きくなり、冷やすと小さくなる。

## 日常生活と関連付ける力を育てましょう

### Point 6

身の回りの事物・現象を科学的な概念を用いて説明させる。

◇日常生活での例を提示し、科学的な概念を使って説明させる。

◇例示以外の身の回りの事象について考えさせる。



へこんだピンポン玉を湯につけると、ふくらんでもとの形にもどります。この現象が起こる理由を、「体積(かさ)」という言葉を使って説明しましょう。



この他に、身の回りのもので、空気のかさの変化と温度が関係しているものをさがしてみよう。

## どのような学習場面でどのような言語活動を？



例えば

内容

- (1) 学校と生活
- (3) 地域と生活
- (4) 公共物や公共施設の利用

### ●学校や地域の施設を探検する活動の前後で

- ・手紙や電話、FAXなどを使って用件を伝えたり相手の都合を尋ねたりする活動
- ・インタビューする活動
- ・集めた情報を新聞・ポスター・パンフレットにまとめ発表する活動

- (6) 自然や物を使った遊び

### ●遊びや遊びに使う物を作る中で友達と関わり合う場面で

- ・友達と競い合ったり力を合わせたりする中で、発見したことや面白さを話し合ったり発表したりする活動

- (7) 動植物の飼育・栽培

### ●これまでの飼育・栽培活動を振り返る場面で

- ・飼育・栽培活動を通して気付いたことについて文章や絵で表現し、話し合う活動

## 授業づくりのポイント

国語科の学習成果を積極的に生かし交流を充実させ、身近な人々と関わる楽しさを実感させましょう。

友だちと「比べる」活動を促し、相違点や共通点を記述させたり発表させたりする中で、疑問を明確にしたりきまりに気付かせたりして、より質の高い気付きを導きましょう。

表現する際に「たとえば」活動を仕組み、体験したことをこれまでの体験につなげて表現させ、気付きの質を高めましょう。

## 言語活動と言語化する内容

A 表現

### ●音楽に関する記号や用語、歌詞とのかかわりから楽譜を読み取り、読み取ったことを言葉に表す活動

- ・作曲者・作詞者の思いや意図
- ・楽譜に示された表現の工夫の仕方

B 鑑賞

### ●楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表す活動

- ・心に思い描いた情景や登場人物の様子
- ・演奏している人の様子

- ・全体的な曲想とその変化
- ・演奏している楽器
- ・音楽を特徴付けている要素
- ・音楽の仕組み

【共通事項】アに示された内容との関連を図ることが大切です

## 授業づくりのポイント

新たに新設された[共通事項]に示された音符・休符・記号や音楽に関する用語を音楽活動と関連させながら、意図的・計画的に取り上げましょう。

言葉で表したことを他者と伝え合う活動を設定し、一人一人の感じ取ったことが広がるようにしましょう。

音楽のどの部分からそう感じたのかを、問う発問を工夫することによって、思考し音楽への理解が深まるようにしましょう。

形や色、作品などのよさや美しさを能動的に感じ取っていく能力を高めるための言語活動の充実を図る指導方法の工夫改善

### 各学年における言語活動の内容

B 鑑賞

【低学年】 自分の気持ちや印象、体験などを自由に交換し、気づきを交流し合う。

【中学年】 気づいたことについて、ある程度理由をつけて話したり書いたりし、自由に意見を言い合う。

【高学年】 色や形と、自分のイメージとを関連づけながら会話したり、簡単な話し合いをしたりする。

### 授業づくりのポイント

作品を見たり、さわったりするだけでなく、鑑賞活動の行い方を工夫しましょう。

- ・ 作品と同じ姿勢をとる
- ・ 作品にインタビューする
- ・ 作者になって一言
- ・ 対話しながらの鑑賞 等

児童の発言に対する問い返しや価値付けを行い、感じ方や考え方を広げましょう。

## 家庭

生活への理解を深め、生活で活用する能力を身に付けるための言語活動の充実を図る指導方法の工夫改善

A 家庭生活と家族

B 食事と調理

C 衣服と住まい

D 消費生活と環境

### 生活への理解を深める言語活動

生活に関連の深い言葉（「団らん」「健康」「手入れ」「快適さ」等）の意味を実感する活動

生活をよりよくする方法を、考えたり説明したりする活動

※自分の生活と関連付けた調べ活動や比較実験等を設定し、表現させましょう。

### 授業づくりのポイント

製作や調理などの実習を行ったり、観察したり、触れたり、味わったりして、驚きや感動を味わう中で、概念を理解させましょう。

家族にインタビューしたり、試しの実験をしたりして、自分の課題をつかませましょう。

実習や比較実験等から分かったことを、図表やグラフ、言葉にまとめ発表し合い、活用の仕方を考えさせましょう。

## 体育

基礎的な身体能力を身に付けるための、運動の特性に応じて動きや運動の場づくり、練習の仕方などを伝え合う言語活動の充実を図る指導方法の工夫改善

### 動きを高める言語活動

導入

教材の楽しさを取り出し、楽しさを充足させるための課題について整理する話し合い活動

展開

動きのこつや効果的な運動の場づくり、練習の仕方などの情報を収集し、解決方法を言語・絵図で伝え合う活動

終末

高まった動きや工夫した運動の場、練習の仕方などの追究の結果や過程を言語・絵図で表現する活動

### 授業づくりのポイント

○克服や達成・競争などの楽しさを取り出す発問の工夫をしましょう。  
○追究する技やコート図・ルール表などの教材に係る資料を提示しましょう。

○動きを再現し、振り返ることができるチェック表やVTRを提示しましょう。  
○動きのこつや作戦・練習方法など追究を促す資料を提示しましょう。  
○追究を記録するノートや動き方・役割を交流する作戦板などの活用を促しましょう。

○動きの高まりを実感させる記録会や発表会、ゲーム大会などを設定しましょう。  
○追究の過程を言語・絵図で振り返る作文やレポート作成を促しましょう。

# 小学校 授業改善の Strategy の活用について

この指導資料は、平成20年度の全国学力・学習状況調査並びに福岡県学力実態調査の調査結果に基づき作成し、県内の先生方に配布するものです。

各学校においては、調査結果から児童の学力の実態を**全職員**で分析するとともに、特に課題が見られる内容について、その改善の方法を**具体化**し、**実践**することが重要です。

そのことにより、児童が**基礎的・基本的な知識・技能**を確実に習得するとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な**思考力・判断力・表現力等**が育成されることが考えられます。

この「授業改善のStrategy」で提案している改善策が、先生方の努力と叡智により、県内の全ての児童のための学力向上に具現化されることを切に期待しています。

## 資料の構成

**指導方法の工夫改善のポイント** を、  
**平均正答率が低い問題から、特に課題となる問題** を例に、  
**児童が習得する知識・技能** を示し、  
それらを活用できる**具体的な指導方法の例** を示しています。  
**生活、音楽、図画工作、家庭、体育**においては、新学習指導要領で重視されている「言語活動の充実」に視点をあて、各教科での言語活動の改善のポイントを示しています。

## 活用のポイント

個人個人の日々の  
教材研究で

学力向上コーディネーター  
を核とした校内研修で

学力向上支援チームが  
学校を支援するときに

教育事務所・教育委員会の  
授業実践力アップ研修等で

- 1 例示した問題を解いてみて、どのような知識・技能が必要なのか、児童が正解できないつまりの原因は何なのかを分析しましょう。
- 2 学習指導要領や『解説』では、どのような知識・技能をどのような方法で習得させることが示されているのか、再度確認しましょう。
- 3 具体的な指導方法の例を参考に、例示した学習過程や資料、発問等をつかって授業をしてみましょう。
- 4 指導方法の例をもとに、さらに改善したり、他の単元で応用したりしましょう。